

令和 8 年度（2026 年度）長野県立大学 大学院 健康栄養科学研究科 修士課程
選抜試験（冬季）【⑤公衆栄養学、国際栄養学、健康科学領域】

問1 世界もしくは日本（地域を取り上げることも可）における健康課題をひとつ以上取り上げ、それに関連する栄養課題を説明しなさい。

【解答例】

日本の健康課題は、成人男性の肥満者の割合が 3 割程度で、3 人に 1 人に肥満者である。肥満はさまざまな生活習慣病（メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）、2 型糖尿病、高血圧症、脂質異常症など）を引き起こす。

肥満と栄養課題の関連として、主なものはエネルギーの過剰摂取があげられる。過剰なエネルギー摂取には、食事の質（たんぱく質、脂質、炭水化物のバランスなど）や食事パターン（食事のリズム、外食・加工食品等の有無、食べる速さなど）との関連がある。

【出題意図】

地域における健康課題については、死因別死亡や有病率等の状況を用いて説明できるか。さらに取り上げた健康課題に関連した栄養問題を取り上げ、健康課題との関連の説明ができていないかを問う。

問2 問 1 で取り上げた健康・栄養課題の解決策として取り組む、世界もしくは日本における政策および事業・プログラムについて、それぞれ説明しなさい。

【解答例】

日本における生活習慣病の政策の一つとして、メタボリックシンドロームの予防・改善を目的とした特定健診・保健指導事業がある。この事業では、40 歳以上 75 歳未満の医療保険加入者を対象としている。特定健診でメタボリックシンドロームのリスク判定を行い、リスクが高い者を対象に特定保健指導を行う。特定保健指導では、生活習慣の改善を行い、おもに食事や運動内容等において、保健師や管理栄養士らが個別に支援を行う。

【出題意図】

問 1 で取り上げた健康および栄養課題を改善するための具体的な取組（政策、事業、プログラム）があげられているか。とりあげた課題と取組は一致しているか。さらに取組の内容が説明できているか。

問3 問2で取り上げた政策および事業・プログラムにおける評価は、どのように行われているかについて、説明しなさい。

【解答例】

特定健診・特定保健指導事業の評価として、生活習慣病やメタボリックインドロームリスクが減少しているかを確認する。評価方法としては、生活習慣病リスクの減少を確認する結果評価（肥満者の割合）のほか、生活習慣病リスクに影響を及ぼしている影響評価（バランスのよい食事を食べている者の割合）、さらに影響評価に影響を及ぼすプロセス評価などがある。

【出題意図】

問1および問2で取り上げた健康・栄養課題と具体的な取組（政策、事業、プログラム）と一致した評価があげられているか。さらに評価の目的や内容が説明できているか。